香川高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	卒業研究

科目基礎情報

科目番号	0074	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 12
開設学科	通信ネットワーク工学科（2018年度以前入学者）	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	12
教科書/教材	各指導教員が指定する。		
担当教員	一色 弘三		

到達目標

1. これまでに学んだ一般教科および専門教科の知識をいかして，各テーマの目的を達成できる。
2. 情報機器を用いて情報収集，研究記録，成果のまとめ，発表ができる。
3. コンピュータ，ものを製作する技術，装置などのノウハウを学ぶことができる。
4. 自主的に研究活動や共同作業ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	これまでに学んだ一般教科および専門教科の知識をいかして，創意工夫しながら各テーマの目的を達成できる。	これまでに学んだ一般教科および専門教科の知識をいかして，各テーマの目的を達成できる。	これまでに学んだ一般教科および専門教科の知識をいかして，創意工夫しながら各テーマの目的を達成できない。
評価項目2	情報機器を用いて情報収集，研究記録，成果のまとめ，発表が的確にできる。	情報機器を用いて情報収集，研究記録，成果のまとめ，発表ができる。	情報機器を用いて情報収集，研究記録，成果のまとめ，発表ができない。
評価項目3	コンピュータ，ものを製作する技術，装置などのノウハウを身につける。	コンピュータ，ものを製作する技術，装置などのノウハウを学ぶ。	コンピュータ，ものを製作する技術，装置などのノウハウを学ぶことができない。
評価項目4	継続的かつ自主的に研究活動が行え，共同作業ができる。	研究活動や共同作業ができる。	研究活動や共同作業ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	卒業研究を通して研究の進め方や方法を経験すると共に，論理的な思考能力，問題解決能力など研究･技術開発のための基本的な能力を育成する。
授業の進め方・方法	卒業研究はこれまでに修得した知識や技術を基に，指導教員が提示するテーマ（指導教員が認めれば学生提案も可能）で研究・調査・製作・実験を行い，その成果を論文にまとめ，発表会で発表する。なお，次の学習項目に教員提示研究テーマを示す。
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	研究テーマの決定，実施計画の立案	適切な研究テーマを決定できる。研究の背景や問題点の整理・分析ができる。実施計画（手法，道具，日程等）を立案できる。
		2週	研究テーマの決定，実施計画の立案	適切な研究テーマを決定できる。研究の背景や問題点の整理・分析ができる。実施計画（手法，道具，日程等）を立案できる。
		3週	研究テーマの決定，実施計画の立案	適切な研究テーマを決定できる。研究の背景や問題点の整理・分析ができる。実施計画（手法，道具，日程等）を立案できる。
		4週	研究テーマの決定，実施計画の立案	適切な研究テーマを決定できる。研究の背景や問題点の整理・分析ができる。実施計画（手法，道具，日程等）を立案できる。
		5週	研究テーマの決定，実施計画の立案	適切な研究テーマを決定できる。研究の背景や問題点の整理・分析ができる。実施計画（手法，道具，日程等）を立案できる。
		6週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		7週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		8週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
	2ndQ	9週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		10週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		11週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		12週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。

		13週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		14週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		15週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		16週		
後期	3rdQ	1週	中間発表会の準備	研究の成果・経過を論理的・具体的に，ドキュメントとして文書にまとめることができる。情報機器を使用した，発表の準備（ポスター作成）ができる。
		2週	中間発表会の準備	研究の成果・経過を論理的・具体的に，ドキュメントとして文書にまとめることができる。情報機器を使用した，発表の準備（ポスター作成）ができる。
		3週	中間発表会（ポスター発表形式）	ポスター発表により，研究成果・経過を論理的・具体的に説明でき，質疑・応答・討論ができる。
		4週	研究の再検討・修正	中間発表会での質疑・応答・討論を省みて，研究内容・計画・解決アイデアなどの再検討・修正ができる。
		5週	研究の再検討・修正	中間発表会での質疑・応答・討論を省みて，研究内容・計画・解決アイデアなどの再検討・修正ができる。
		6週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		7週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		8週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
	4thQ	9週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		10週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		11週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		12週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		13週	研究の実施	研究の背景や問題点の整理・分析ができる。問題解決のアイデアを考案し，評価できる。アイデアに基づき，問題を解決するための活動を行える。
		14週	年度末発表会の準備	中間発表会の経験を生かして，研究の成果・経過を論理的・具体的にドキュメントとしてまとめることができる。情報機器を使用した，口頭発表の準備（パワーポイント）ができる。
		15週	年度末発表会の準備	中間発表会の経験を生かして，研究の成果・経過を論理的・具体的にドキュメントとしてまとめることができる。情報機器を使用した，口頭発表の準備（パワーポイント）ができる。
		16週	年度末発表会	中間発表会の経験を生かして，情報機器を使用した，口頭発表により，研究成果・経過を論理的・具体的に説明でき，質疑・応答・討論ができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	中間発表	卒業研究論文予稿	卒業研究論文	卒業研究発表	取組姿勢	その他	合計
総合評価割合	10	10	30	20	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	10	10	30	20	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0